

平成30年度九州大学法科大学院入学者選抜試験

(第2次募集)

試験問題

論文試験

(注意事項)

- 一 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 二 本試験問題は(この表紙と白紙を除き)10頁、解答紙は3枚である。「始め」の合図があったら、それぞれ確認し、解答紙のすべてに受験番号を記入すること。
- 三 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 四 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は無効とする。
- 五 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用紙に限り許可する。

次の文章をよく読んで、問(1)～(4)に答えなさい

【出典】河合隼雄「片側人間の悲劇——昔話にみる現代人の課題」河合俊雄編『〈物語と日本人の心〉コレクションV 昔話と現代』(岩波書店・2017年、初出・1987年) 41-65頁
なお、問題の作成に当たり、原典の文章を一部加工している。

問(1) 下線部①につき、筆者は、「片子」の話に出てくる父親、母親および片子のそれぞれどのような点をとらえて「日本人の特性を反映している」と考えているか。500字以内で説明しなさい。

(80点)

問(2) 下線部②につき、筆者は、日本の「片子」の話が、世界各地の「片側人間」に関する昔話とどのような点で共通し、またどのような点で特徴的であると述べているか。300字以内で説明しなさい。

(40点)

問(3) 下線部③につき、筆者は、「片子」の話や「猿聾入」の話から見えてくる日本人男性の父性とはどのようなものであると考えているか。日本人女性の母性との関係を踏まえつつ、300字以内で説明しなさい。

(40点)

問(4) 筆者は、「片子」の話から見えてくる現代人にとっての課題はどのようなものであると捉えているか。また、現代の「片子」の立場にある者としてどのような者が考えられ、またそのような者に対してあなたはどのような救済の手を差し伸べるか。600字以内で論じなさい。

(90点)